



2016 年 12 月

第258号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 中塚 辰生  
副会長 小口 多津子 多河 敏子  
書記 久保田 貞視 小口 多津子  
会計 長谷川 あや子  
林外会長 並木 雍子  
担当主事 中里 敦  
ブリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 清 多河 敏子  
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson(カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」  
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」  
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」  
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」  
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」  
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」  
あずさ部長主題 浅羽 俊一郎 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」  
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一歩前進」

### 2016年12月 第一例会 (クリスマス例会)

担当A班: 中塚、長谷川、小口、仲田、中里、山本

日時: 12月10日(土) 18:00~21:00

場所: 大学セミナーハウス (交友館と本館食堂)

東京都八王子市下柚木 1987-1 TEL042-676-8511

受付: 長谷川、小口 奏楽: 永町匡世さん

会費: 3,500円(メネット)(ゲスト) 2,500(メン)

1,500円(学生)

司会: 小口

開会点鐘 会長

ワイズソング・ワイズの信条 一同

キャンドル点灯

讃美歌 109番「きよしこの夜」(1番、3番)

聖書朗読・感謝の祈り 小口

聖書「マタイによる福音書21章1~17節

奨励 「いと高きところにホサナ」 仲田

讃美歌 106番「あらの野はてに」(1番、2番)

キャンドル消灯

報告・連絡事項

閉会点鐘 会長

### クリスマス例会第二部

#### (祝い会と懇親会)

会場: 本館・食堂 (19:00~21:00)

司会: 山本 受付: 小口・長谷川

ピアノ伴奏 永町匡世さん

ゲストビジターの紹介 中塚会長

乾杯 仲田 達男

お食事

◆ピアノソロ 永町匡世さん

◆懐かしの歌 指導・山本英次

◆ゲーム 指導・中里 敦

スマイル・多摩いのちの電話の為、長谷川あや子

Happy Birthday 中塚会長

先月の例会ポイント(11月)		BFポイント	
在籍	18名	切手(国内・海外)	0g
メン	13名	累計	515g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	72%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	11,060円
ゲスト	1名	累計	32,622円
ビジター	6名		
ひつじぐも	3名	オークション	0円
		累計	0円

#### (聖句)

「なぜなら、わたしたちは、人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです。」

(ローマ人への手紙3章28節)

## 巻頭言 クリスマスに思う

並木 信一

小学校低学年の頃、姉と弟2人、4人連れだって、日曜学校に通いました。日曜学校は、自宅から2kmちょっと離れた、西八王子駅前の自転車預かり屋さんの2階で、神学校の学生が交代で開いていました。クリスマスには、きれいなカードやお菓子を貰いました。そのようなことが楽しみで、幼い弟の足では4~5分も歩く距離を通ったものでした。私と同年代の人なら誰でも知っている、物の乏しい、貧しい時代でした。私のクリスマスの思い出は、きれいなカードとお菓子、ここから始まります。そして、教えられたことは、クリスマスは、神様が、イエス・キリストという人となってこの世にお生まれになったことを記念して祝う日であること、でしたが、このことが何故、祝うべきことなのかはよくはわかりませんでした。しかし、イエス・キリストは、いつも、幼い子どもやお年寄り、貧しく弱い立場にある人の傍らに立ち、その味方となって守ってくれる人なのだということが、おぼろげに理解していました。

イエス・キリストの生涯については、その誕生もさることながら、その十字架上の死にこそ意味があることも神学生たちは伝えたかったでしょう。でも、いつも自らを低くひざまずかせて、傍らにいる人を高くする、イエス・キリストに倣う生き方が大切なのだ、と、神学生は私たち子どもに伝えていました。

数年前に、オバマ大統領が来日し、天皇を訪問されました時、大統領は、天皇と握手を交わし、深々と腰を折り、頭をさげて挨拶をされました。それは、相手が天皇ならずとも折り目正しく相手に敬意を表する大統領の人柄として受け取ることもできる、私には、好感のもてる姿でした。

ところが、アメリカ国民の一部からは、屈辱的な姿として、非難の声があがりました。外交上の立場の優劣や駆け引きは分かりません。しかし、自らを低くして、相手を高くし敬う行為は、自らを低くした人をこそ高みに上げるものであることとはいえないでしょうか。イエス・キリストは、いつも自らを低くし、いと小さきもの、人からあまり顧みられることのないものに目をとめ、限りなくやさしいまなざしを向け続けられました。オバマ大統領のお辞儀にもイエスキリストは頷いているように思えました。子どもの頃のクリスマスで、神学生から学んだことは、私にこのような感受性をうけ付けました。

今年も、クリスマスの時がやってきました。私たちの周囲も、また、クリスマス一色になりました。私たち、八王子ワイズメンズクラブでも、クリスマスを祝う集いを行います。キリスト教的な意味合いはともかく、楽しみつつ、この集いのなかで、其々の意味を見つけ出したいものと思います。

## 部長公式訪問に同行して

あずさ部書記 小山久恵(東京サンライズ)

7月のキックオフ例会には、甲府21クラブを皮切りに8クラブを訪問し、9月に2クラブ、そして最後が八王子クラブとなりました。7月は、3日連続というようなスケジュールが2週間あり、あずさ部内を飛び回った感がありましたが、その後はポツリポツリで、今回は久しぶりの例会訪問でした。

北野駅で小口さんがお迎えくださり、浅羽部長、尾内会計、長津ユース事業主査と私の4名でお邪魔しました。

他に東京クラブの比奈地会長と江口さん、中大ひつじぐもの3人と共に例会場の北野町会館へ向かいました。その昔、八王子メンバーの皆様方がもう少しお若くてお元気だった頃、クリスマス例会に何度か伺った事がありますが、第一例会は初めてでした。

この日の卓話は浅羽部長の一代記で、このお話を聞くのは4度目でした。お陰様で、夫の生い立ちより彼の生い立ちの方を詳しく知っています。

浅羽さんも、初めの頃は結構緊張して、かた一いお話ぶりだったのですが、ここにきてすっかり余裕で、和気藹々の雰囲気の中、普通では経験できないご自身の半生を語ってくださいました。これから就活をする大学生の参考になったのではないのでしょうか。久しぶりにお会いした辻さんが、熱く感想を述べていらっしゃいました。お元気になった辻さんにお目にかかれて嬉しかったです。

例会の出席者に若者が入ると、場が華やきます。八王子クラブでは、毎回、何人かの中大生が出席するそうです。こういう関係を作って、若い人々と交流できることは素晴らしいと思いました。二次会にも、彼らが出てくれたらお話できたのにと、少々残念でした。

飲兵衛の我々にお付き合くださった中塚会長、久保田さん、茂木さん、ありがとうございました。

部長は、クラブ訪問時、メンバーと話したいという希望を持っていますが、今回、八王子のメンバーとはお話できたでしょうか？



浅羽部長の公式訪問

## 甲府クラブ例会訪問報告

長谷川 あや子

東日本区の中でも4番目に歴史のある甲府クラブから、須郷さんと佐宗さんが卓話の依頼を受けたと聞き、八王子クラブからも是非応援に行きたいと思い小口さんと二人で参加いたしました。浅羽あずさ部部長も駆けつけて下さいました。

例会の会場はホテル談露館—シックなホテルです。中大学Yナイトの時はすぐユースコンボケーションの本題に入りましたが、甲府クラブでは初めてお会いする方ばかりなので、自己紹介にも十分時間をとって日頃どんな学生生活、活動をしているかを活き活きと話して下さいました。TPOを考えて発表の中身を工夫して下さいさるなんてさすがですね。須郷さんも佐宗さんも堂々としていて落ち着いて、しかも若者らしくとても爽やかでした。

以下、お二人から感想を頂きました。

須郷利貴

先日は、IYCの卓話を担当するという、大変貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。IYCの発表はこれで3回目となりますが、IYCという世界の優秀なユース達と意見を交換し、同じ時間を共に過ごすというまたとない学びの場の魅力を皆様にお伝えできたのなら幸いです。私自身、IYCを契機に大きく成長することができましたし、中央大学YMCAならびに八王子クラブに今まで以上に貢献していきたいという意識が芽生えました。そして、この卓話をきっかけに、参加者が増えることを切に願っております。このたびはお招きいただき、ありがとうございました。

佐宗侘子

甲府クラブでは過去にユースコンボケーションに参加した方がいらっしやらないということで、興味を引く内容になるよう工夫しました。中大ナイトではディスカッションの内容など学んだことを細かく話したのですが、今回は主に部屋のメンバーとの思い出など台湾での出会いについて話させていただきました。ある方から、「IYCがユースの方たちにとって貴重な経験であったということを知り、プログラムを遂行して良かった」と感想をいただき、私自身プログラムを提供して下さった皆さまへの感謝の意を改めて感じました。発表をもってその恩を返すことができたと思います。少しでも多くの方に報告でき、嬉しく思います。

## ☆ 近隣他クラブ訪問 ☆

久保田 貞視

### ○山手・サンライズ・たんぼぼ合同例会

11月15日(火)18:30より山手センターで同センターを例会会場として使用している3クラブ合同の例会が開催され、当クラブからは小口さんと出席。司会はたんぼぼクラブの小原史奈子さんと藤江さん。開会点鐘は山手

クラブ会長の金本さんで閉会点鐘はサンライズの御園生さんと3クラブで交互に分担してスムーズに進行した。

第2部は「ユースとジャズの夕べ」で台北ICでのユースコンボケーション及びユースボランティアリーダーズフォーラムに参加したユースから、ワイズの皆さんのお蔭で貴重な体験ができた感謝と共に概要の報告があった。ジャズはトランペッターとして著名な下間哲氏がトランペットとは少し形の違う有名人が使用していたコルネットを、ギタリストの遠藤弘明氏とコンビでのジャズ演奏。夕食前・後と2度に亘り素晴らしいデクシーランドジャズに堪能、私達聴衆はうっとり聞きほれた。

### ○東京世田谷クラブ

11月18日、11月例会に出席。世田谷クラブには15年位前から時折出席している。いつも美味しい手作りの料理とみそ汁が付くユニークな例会です。今回は、小原ワイズの差入れによる昨日解禁されたばかりのボジョレヌエボで乾杯して夕食になった。

卓話はNPO法人「JEN」の代表理事である木山啓子さんによる「誰かのためなら人は頑張れる国際自立支援の現場で身につけた生き方」であり、出席したワイズメンを惹きつけた。

JENの活動はユーゴ及びアフガンの難民支援から始まり、紛争地域の多くの国をカバーしています。国際支援とは、弱者支援、住宅支援、教育支援、収入創出、職業訓練、平和構築、自立支援に分けられ、自立支援の重要性を説いて、それぞれの局面についてパワーポイントを使用して分かりやすく説明してくれた。帰り際、木山さんの発行した本「誰かのためなら人はがんばれる」—国際自立支援の現場で身につけた生き方を購入。感動的な活動内容と彼女の行動指針の本です。しかし、難民問題は各国の政治が安定していれば発生しない。国の統治に外国や為政者が混乱させることがない社会を期待したい。

## 第20回「東日本区ワイズメネットのつどい」

メネット会長 並木 雍子

11月26日(土)、11:00~14:30、東京YMCA東陽町センターを会場に、第20回「東日本区ワイズメネットのつどい」が開催され、参加してまいりました。

プログラムは、沼津クラブの相磯優子メネット委員会委員長の挨拶に続き、東日本区栗本治郎次期理事の「来賓祝辞」、「参加者紹介」、「委員会報告」、「会食」、「講演会」、「アピールタイム」、全員の歌「メネットのねがい」、「閉会挨拶」、「記念撮影」と続けられました。

委員会報告は、今年度の事業計画の進捗状況として、●「国際プロジェクト」として、①シエラレオネの戦争被災児の教育、②イタリア・シデルノの「早く学び、賢くならう」、●「国内プロジェクト」として①絵本を贈る運動、②東日本大震災支援などの現況が報告された他、●「今後の

予定」等が報告されました。

講演では、NHKアナウンサーとして長年活躍している武内 陶子さんより、「子育てと仕事・放送の裏側」と題してお話をうかがいました。お話しを通して、3人の子育てをしながら、アナウンサーの仕事もおろそかにしないで、しっかり働くよう努力している、講演者の日々のお姿がよく伝わってきました。

アピールでは、クラブの活動状況等が報告されましたが、クラブ独自の組織的な活動がないクラブもあり、総じてメネット数がとても少ないクラブの多いことを知らされました。このアピールでは、東京八王子クラブメネットとして、老人ホームでの手芸や歌の奉仕、クラブのチャリティコンサートの応援、中大学Yとの交流、クラブの2月例会をメネットナイトとしてメネットが運営していること等を紹介しました。

「つどい」の参加者は、24クラブより、メネットが52名、メン他が5名の57名で、終始和やかに行われました。八王子クラブからは、久保田メネットと並木メネットの2名で参加する予定でしたが、久保田メネットが健康を損なわれ、並木メネット1名の参加となりました。

余談ですが、おつちよこちよいの私は、会場に忘れ物をし、地下鉄駅と会場を、結局3回も往復することとなり、疲れ果てての帰宅となりました。

## 定年後の仕事

望月 隆珉

母が高齢の頃は、まだ介護保険制度は無く、家政婦紹介所から派遣された奥さんが家に来て介護をしてくれた。また、往信してくれる医師や看護師には感謝していた。

私も七年間郷里へ単身赴任していたが、高齢者の介護は、お金も掛かるし、腰痛になるし、妻や子供達とは別居したりで、大変であった。

私は、定年退職後、2級ヘルパーとして、介護ヘルパーとして介護事業所へ就職し、仲間の勧めで介護福祉士になり、今も仕事を続けています。

朝早く、フロントガラスに着いた氷を落として、仕事に出掛けるのは辛いけれども、訪問先で「ありがとう。またお願いします。」と言われた時には、ヘルパーになって良かったと思う。

一番困ったことは、「おじさん、おれの小遣いを取やしないかい？」と言われた時で、一緒に探して布団の間から出てきた時の嬉しそうな顔は忘れられない。

三年前の二月の大雪で車を出せなかった時に、透析の患者さんを青梅市の救急車が立ち寄ってくれて病院へ行く事が出来た。

数年前の1月2日の訪問日に行ったところ、一人暮らしのご利用者さんが亡くなっていて、救急車は帰ってしまい、高尾警察署の鑑識課が来て、長い間いろいろと聞かれたが、

1月4日になってから、元旦の朝、脳溢血で亡くなったことを知った。

今月のヘルパー会議では、冬場は部屋、トイレ、風呂は暖かくすること。酒や塩分は控え目にする。歩くときは、足元に注意すること。

市民健診や人間ドックで病気が判ったら、早く治療する様にと言われた。

私の介護の仕事には、ワイズの信条である『他者への貢献、隣人愛』の教えが今も生きております。

## わくわくビレッジ ワイズガーデン皇帝ダリア顛末記

茂木 稔

11月18日の快晴の日に、今年の春植えつけた皇帝ダリアが、ブリテン11月号佐藤館長の報告の写真のように3.5mにも伸びて、18日ならば薄紫の花が満開で50花ほども咲いているものと、心躍る気持ちで多河、長谷川、並木さんと私の4人がガーデンの草花管理に向かいました。

ところがです、そこに見たのは全く花の無いウドの大木のようなダリアの木を見たのです。今までずっと手入れしてきた皆はガッカリです。そのワイズガーデンは以前から日当たりが悪いのは気付いていたのですが、3.5mも夏の陽を浴びて伸びたものが、全く花をつけぬとは！。

周りの家の同じ花は皆立派な花が咲き誇っています。

10時にそこへ行った折に、太陽の位置を見てみると、10時には建物は南中しています。

それはビレッジの建物が東に振れているのです。以前からそれを疑っていたのですが、ついに明らかになりました。

昨年9月より1年2ヶ月に亘って花壇の育成に努めてきましたが、日照という環境には負けてしまいます。

今後の運営にも考えざるを得ません。兎も角、来春のための日本水仙、西洋ラッパ水仙、菜の花、ジャーマンアイリスは順調に生育しているようですが、上手くゆくのでしょうか。今後のワイズガーデンについては再考せざるを得ないでしょう。



昭和記念公園の「皇帝ダリア」



## 中大・学Y便り

2年 蜂谷 真基

2016年も年の瀬が徐々に近づき、寒さが厳しくなってきました。2016年の終わりが近づくと、今年1年の自分が参加したひつじぐもの振り返ってみたいと思います。まずは被災地支援係を担当していた私は2月に東北被災地支援として岩手県宮古市を訪れました。実際に現地を訪れたときに感じたことは、現地の状況が正確に日本中の人に伝わっていないということです。震災から5年以上経過した今、復興している面、まだまだ復興していない面、それぞれ多く存在していると感じましたがその状況をメディアが報道しなくなっていることが課題だと思います。自分は今後も被災地を訪れて、自分なりの方法で被災地の現状を伝えられればと思っています。4月には新歓時期があり、今年も多くの1年生がひつじぐもに加入してくれました。今年の1年生はとても能動的に活動に参加してくれました。夏にあったアジア学院や夏期ゼミナールなどの学生YMCAの活動にも多くの1年生が参加して、全国のYMCAの方々との交流を通じて色々貴重な経験が出来たのではないかなと思います。私自身も夏期ゼミナールに参加し、今年4月に発生した熊本地震の支援募金を呼びかけ、多くの方にご協力いただきYMCAのつながりの強さを実感しました。そして秋が終わり、12月からは3年生から私たち2年生へと代替わりが行われます。私自身は副委員長として1年間活動することになりました。先ほども述べましたが、現在の1年生は積極的に活動に参加してくれているので、来年からひつじぐもの活動がさらに活発になるのではないかととても期待しています。私は副委員長という立場として委員長を支え、ひつじぐも全体を見渡してバランスが取れるような役割が出来ればと考えています。これからまた新しいひつじぐもがスタートしますが、全員で協力して良い活動ができるよう頑張りますのでひつじぐもの多くの先輩方には温かく見守っていただければと思います。

## 西東京センター便り

中里 敦

街はすっかりとクリスマスの装いとなり、アドベント、クリスマス、そして新しい年へと心わくわくする時期となりました。また、1年が経つのを早く感じ、この1年は何をしてきたのだろうと振り返ることもあります。私がこの西東京センターに異動してからちょうど1年が経ちました。八王子ワイズの担当主事となってからも1年です。昨年度12月の原稿で、「新しく異動してきた中里です。よろしくお願いたします。」と書き、他には、「ワイズや会員など多くの方々に支えられているセンターであり、皆さんが集える場にしたい」と書いたのを覚えています。1年間で支えられていることを実感することはたくさんありました。しかし、みんなが集える場というにはまだ十分でないように感じます。この1年間で変わったところもあります。ひとつは、常勤のスタッフが1名増え5人となり、新しい事業も始め、夕方に小中学生が利用するようになりました。日頃はリーダーがほとんどでしたが、これまでとは違うスタッフが増え、施設の利用者が増え、今までとは少し雰囲気が変わってきました。もっと利用者が増え、色々な人が交わり賑やかになればと願っています。そして、ここが居場所の一つとなってもらえればセンターとしての役割もひとつ果たすことができます。

センターの改修工事により、これまでよりは使いやすいロビースペースができ、床もタイルカーペットを明るいい色で張替え、子どもたちものんびりできるように土足禁止にし、過ごしやすい空間となっています。「花や植物などがあつたら」、「みんなで楽しめるプログラムがあれば」などワイズの方々とは、センターがさらに良くなっていく話をしていきたいと感じています。

今年も皆様のおかげで無事に終えようとしていること感謝申し上げます。それぞれの場でクリスマスをお祝いできますようお祈り申し上げます。

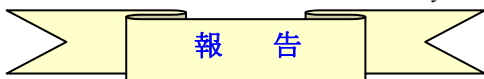
### (お 話)。

今年マルチン・ルターの宗教改革から500年に当たるということで、ルター派の代表とローマカトリックの法王が会見したとか仄聞しました。当時墮落していたローマ・カトリック教会も改革が行われて来たのでしょうか。人間の組織は何時も真剣な改革に努力を続けていないと墮落しがちなものです。

海外のしかるべきホテルには必ず新約聖書が置かれていて、現地の言葉の他、必ず英語のものがあつたり、地域によりその他の国語の聖書も置いてありますが、ドイツ語の聖書は必ずと言っていいほど500年も昔に翻訳されたルター訳です。この聖書の普及によってドイツ語は統一されることになったといわれる、貴重な文化的功績を担っています。

このルター訳の特記すべき箇所がご紹介した聖句です。ルターはこの聖句中「信仰による」を「信仰<のみ>alleinによる」と訳したのです。ギリシア語原文には<のみ>alleinという言葉はありませんから、誤訳といえるかもしれません。しかし、貨幣がチャランと音をたてたら救われるなどといったような墮落した信仰環境からの脱却に献身していたルターの熱情が<のみ>alleinを挿入させたに違いありません。今年も信仰に溢れたクリスマスを迎えたいものです。

仲田 達男



### ワイス11月例会報告

日時：2016年11月12日（土）18：00～20：00

場所：北野町会館

出席者（敬称略）長谷川、小口、山本、中塚、辻・辻メネット、茂木、並木・並木メネット、望月、佐藤、久保田、大久保・大久保メネット、多河、福田（16名）

・中大ひつじぐも：須郷利貴（2年）、坂本菜美（1年）、佐宗伶子（2年）3名

・ビジター・あずさ部長浅羽ワイズ、書記小山久恵ワイズ、会計尾内ワイズ、ユース事業主査長津ワイズ、東京クラブ 比奈地ワイズ、江口ワイズ 合計25名  
卓話：あずさ部浅羽部長の職業遍歴と人間形成

（YMCA1974年～1983年、UNHCR国連難民高等弁務官事務所1984年～2007年、

東京YMCA2008年～）での仕事と体験談

報告事項：

・中大ひつじぐもの須郷君、佐宗さんが11月8日甲府クラブ例会でIYC台湾体験談の発表

（長谷川ワイズ、小口ワイズ、甲府クラブ例会に出席）

・3月11日チャリティコンサートの予算 460,000円

・高尾の森わくわくビレッジY's ガーデン作業：12月18日（金）午前10：30～お手伝いできる方

・東日本メネットの集い：11月26日（土）

場所：東陽町センター 11:00～14:30

出席者：並木メネ、久保田メネ

・11月第2例会：11月26日（土）18：00～20：00

北野事務所

・東京YMCA会員協議会（ソーシャスフォーラム）

11月26日 10：00～16：00

場所：山手コミュニティセンター 会費：1,000円

・12月第1例会（クリスマス例会）八王子ワイズ

12月10日（土）18：00～21：00

場所：八王子セミナーハウス（交流館 本館食堂）

会費：3,500円（メネット・ゲスト）

2,500円（メン）

1,500円（学生）

### \*BF2016年9月報告

切手：（国内 0g 海外 0g

累計515g

プルタブ 0g

累計2,350g

### \* 老人デイサービスセンター鑑水\*

【報告】 11月17日（木）

ペーパーフラワー 14:00～15:00

参加者：赤羽、色川、下重、多河、山口、山中、茂木

【予定】

12月15日（木）ペーパーフラワー 14:00～15:00

### <西東京センター 主な行事予定>

#### 【12月】

4日（日）「ファミリークリスマス会」

@東京YMCA 医療福祉専門学校

西東京センターに関わる様々な方を対象としたクリスマス会です。礼拝に加え、ワイズやリーダーによる出し物、音訳ボランティアサークル「シジウカラ」による絵本の音読など、みんなで作り上げる暖かみのあるクリスマスです。神様と共にクリスマスの楽しいひと時を持ちましょう。

13日（火）・20日（火）「ボイストレーニング」

@西東京センター

ボイストレーニングは、こんな方にお勧めです！カラオケがうまくなりしたい・楽しく健康になりたい・認知症が心配なので予防をしたい・体脂肪を燃焼させたい

#### スキーキャンプ

キッズスキーキャンプ（12/27～30）、シユプールユースキャンプ（12/26～30）、オール東京ユースキャンプ（12/26～30）

### 12月の誕生祝い

多河 敏子 12月 6日

### 新年歌はじめ

### 2017年在京ワイズ合同新年会

早いもので今年もあと1か月となりました。在京合同新年会のお知らせです。

今からご予約を入れて頂き、皆様でご参加頂けますようお願い申し上げます。

### 記

日時：2017年1月7日（土）

12:30～15:30（受付開始 12:00～）

会場：東京YMCA 山手コミュニティセンター

東京都新宿区西早稲田2-18-12

[TEL03-3202-0321](tel:03-3202-0321)

**登録費：5,000円**